

稲作情報 第6号

令和7年6月27日
射水市農業技術者協議会

- ・草刈りは適期に的確に実施しましょう！
- ・てんたかくの防除は生育に合わせて適切に行いましょう！

＜生育状況＞

- ・てんたかく：平年に比べ、草丈は並、茎数はやや多く、葉色は並となっています。幼穂形成期は近年並の6月24日でした。出穂期も近年並の7月15日頃の見込みです。
- ・コシヒカリ：平年に比べ、草丈・茎数とも並、葉色はやや淡くなっています。幼穂形成期は、平年並の7月10日頃、出穂期は、8月1日頃の見込みです。

射水市技術者協議会調査圃(6月24日調査)

()内は見込み

品種	年度	田植日	草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉令	葉色	幼穂形成期	出穂期
てんたかく	R7	5月2日	55.0	692	11.2	4.3	6月24日	(7月15日)
	平年	5月2日	54.3	642	11.0	4.4	6月24日※	7月15日※
コシヒカリ	R7	5月12日	48.5	489	9.9	4.1	—	—
	平年	5月12日	47.7	496	10.1	4.3	7月10日	8月1日

※てんたかくの葉令と幼穂形成期・出穂期は、近年値(R2～6の平均値)

1 斑点米防止対策

- ・雑草地等での斑点米カメムシ類が多発しています。今後、気温が高いと予想されていることから、さらに増殖するおそれがあります。餌となる雑草の穂が出ないように、草刈りを徹底しましょう。

草刈り運動期間 : 6月27日～7月6日
一斉草刈り日 : 6月28日(土)、29日(日)

県の病害虫発生予察調査で、斑点米カメムシ類の発生が平成10年以来最も多く確認されています。

2 「てんたかく」の防除 生育状況を見て、適期に防除！

- ・防除作業は風のない朝夕の時間帯に行いましょう。(周囲へのドリフトに注意)
- ・散布の間隔は7日間を基本とし、散布効果を保つよう注意しましょう。

＜てんたかく防除日程の目安＞

	1回目	2回目
時期	穂揃期(出穂3日後) 7月18日頃	傾穂期(1回目の7日後) 7月25日頃
粉剤	ビームスタークル粉剤5DL 4kg/10a	ラブサイドキラップ粉剤DL 4kg/10a
液剤	ビームエイトスタークルゾル ブーム等 1,000倍 150ℓ/10a ドローン 8倍 0.8ℓ/10a	ラブサイドK2フロアブル ブーム等 1,000倍 150ℓ/10a ドローン 8倍 0.8ℓ/10a

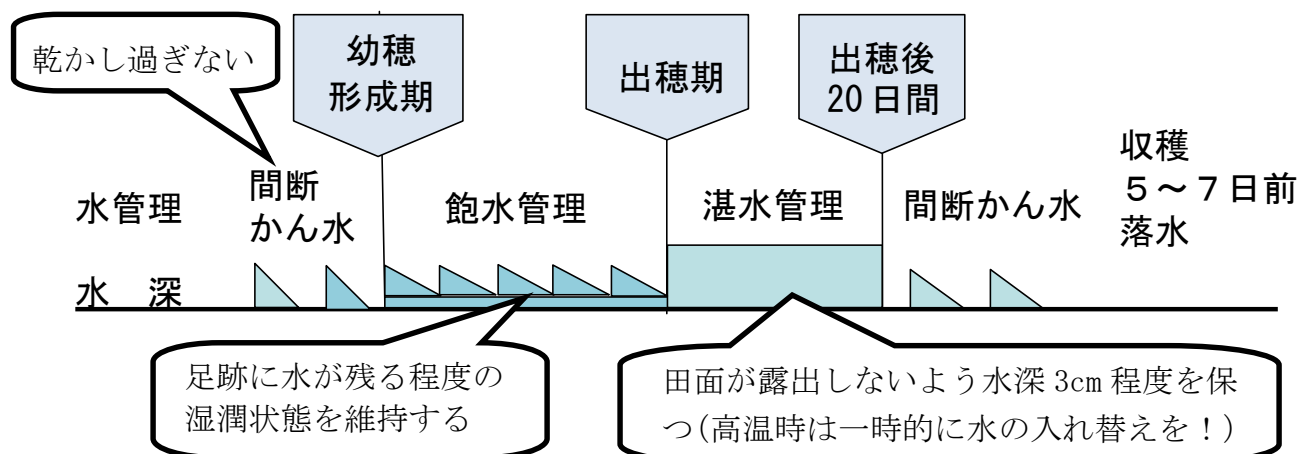
※追加防除が必要となる場合は、随時お知らせします。

次ページに続く

3 水管理

- ・稲体の活力を維持するために、幼穂形成期から出穂期までは足跡に水が残る程度の湿潤状態を保つ「飽水管理」、出穂後 20 日間は水深 3 cm 程度の「湛水管理」を行いましょう。

<水管理のイメージ>



4 てんたかくの追加穂肥

- ・出穂7日前頃の葉色が4.2以下と淡い圃場は、下表のとおり追肥してください。

施用時期	肥料名	施肥量	目標葉色 (穂揃期)
出穂の3日前まで (7月12日頃まで)	追肥3号(15-3-15) または 流し込み追肥化成らくらく (15-12-12)	7kg/10a (N:1.05kg)	4.5程度

○農作業中の熱中症対策について(事故防止に努めてください)

- ①日中の気温の高い時間帯を外して作業を行う。
- ②帽子・熱を逃がしやすい衣服の着用や保冷剤等により体を冷やす。
- ③屋内の作業では必要に応じ送風機やスポットクーラーなどを利用する。
- ④のどが渇いていなくても 20 分おきに休憩し、
毎回コップ 1 ～ 2 杯以上を目安に水分補給する。
- ⑤作業は出来るだけ複数で行い、時間を決めて
体調確認を行う。
- ⑥暑さに関する情報（気温、湿度等）を確認する。



【お問い合わせ先】

JA いみず野営農指導課 TEL:52-6805 高岡農林振興センター射水班 TEL:26-8478

JA いみず野ホームページ <http://www.ja-imizuno.or.jp>